

第 17 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	北海道地方			

[問題 1]

右の地図の()の部分で、気象に関連して見られることを次のア～エから 1 つ選べ。

- ア 冬に流氷が接岸する。 イ 台風が来ない。
 ウ 冬の最低気温がマイナスにならない。
 エ 夏に濃霧が発生することが多い。

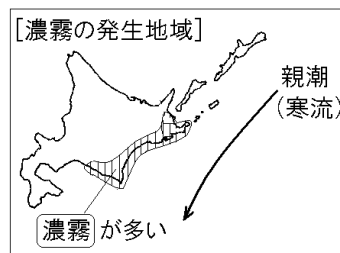


[解答欄]

エ

[解説 1]

日本海側の札幌は、冬の降水量が多い



北海道の太平洋側では、夏の南東の季節風が寒流の親潮(千島海流)の影響を受けて冷やされ、濃霧が発生する。そのため、夏でも晴天の日が少なく気温が低い。

[解説 2]

北海道内では、南北にのびる山地によって、気候の特色が変わる。

札幌市などの日本海側では、冬になると北西の季節風が日本海を流れる暖流(対馬海流)の影響で多くの湿気をふくみ、山地にあたって雪をもたらす。

このことから、冬の降水量が多い A のグラフが日本海側にある札幌市の雨温図であると判断できる。

気温の面では、日本海側は夏の気温がやや高くなる。

これに対し、山地より東側の地域(帯広市など)は、B のグラフのように、冬の降水量は少なく雪はあまり降らないが、気温はかなり低くなる。夏も気温が上がりにくい。

[問題 2]

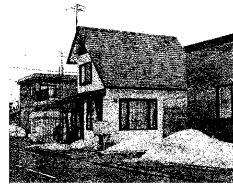
次の各問いに答えよ。

- (1) 資料 1 の北海道の住宅について、次の文中の①～④に

あてはまる語句を書け。

この住宅は、外の(①)い空気が家の中に入ってこない
ように玄関や窓を(②)にしている。また、(③)が
すべり落ちるように、屋根の傾斜を(④)にしている。

資料1



資料2



- (2) 北海道でよく見られる、路面が凍結しないように地下に電熱線や温水パイプを埋めこんだ設備を何と
いうか。
- (3) 資料 2 の信号に見られる、雪を積もりにくくする工夫を、簡単に書け。

[解答欄]

(1)①冷た	②二重	③雪	④急
(2) ロードヒーティング		(3) 雪が積もりにくい縦型の信号機を使っている。	

[解説]

[雪や寒さへの対策] 道路：ロードヒーティング, 縦型の信号 住宅：玄関や窓を二重, 断熱性の高い壁, 屋根の傾斜を急にしている

北海道で雪が多く降る地域では、道路の中に電熱線や温水パイプを入れ、その熱で雪をとかすロード
ヒーティングが見られる。

雪が積もらないように、縦型の信号機や上部がななめになっている看板も見られる。

また、住宅も雪や寒さに対する工夫がみられる。

屋根の傾斜が急になっている住宅があるが、これは、雪をすべり落ちやすくするための工夫である。

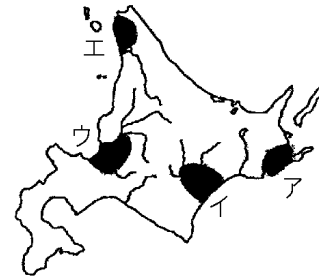
また、家の窓や玄関を二重にしたり、断熱性の高い壁を用いたりして、外気の影響を受けにくく、室内
の暖かさを外へにがしにくい家のづくりが一般的になっている。

[問題 3]

北海道は田の割合が少ないものの、米の生産量は全国 1 位、2 位を争っている。

- (1) 寒冷な北海道で米作りがさかんな地域を地図中のア～エから 1 つ選べ。
 (2) (1) で選んだ地域で米作りがさかんになった理由を述べた次の説明文の
 ①～③にあてはまる語句を下の[]から選べ。

水が豊富で、道内では比較的温暖なこの地域では、(①)によって
 (②)を改良し、(③)によって、寒さに強い品種を開発して
 きたため、稲作がさかんになった。

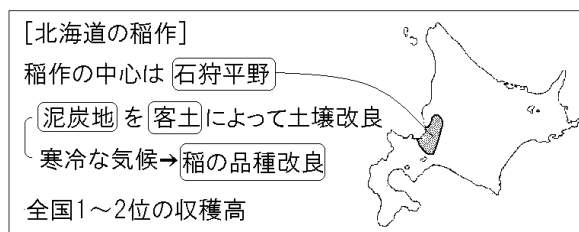


[泥炭地 火山灰土 客土 品種改良]

[解答欄]

(1) ウ	(2)①客土	②泥炭地	③品種改良
-------	--------	------	-------

[解説]



明治以降、北海道の開拓が進められたが、北海道の冷涼な気候は稲作には向かないと考えられていた。

しかし、寒さに強い稲を品種改良によって生み出し、稲作を可能にした。

北海道の稲作の中心となっているのは、夏の気温が比較的高くなる石狩平野である。

石狩川下流域の石狩平野は、湿地に枯れた植物が積み、低温のため分解が進まず、長年の間に炭化した泥炭地で、稲作に適していなかった。

そこで、水路を整備して余分な水を取り除き、稲作に適した土に入れかえる客土という土壌改良が行われた。現在では、北海道は新潟県と 1、2 位を争う米の収穫高をあげると至っている。

[問題 4]

北海道の農業の特色をまとめた次の説明文の①～④にあてはまる語句を下の[]からそれぞれ選べ。

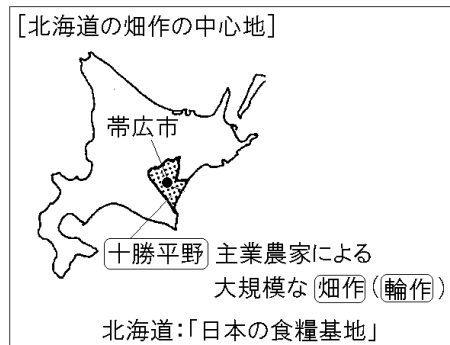
北海道では、広大な土地をいかした大規模農業が(①)農家によって行われている。耕地の(②)割近くが畑である。日本で最大の畑作地域である(③)を中心に、冷帯気候とローム層におおわれた土壌に適した作物を栽培している。多くの畑では、土地の栄養を落とさないように、異なる作物を順番につくる(④)が取り入れられており、畑作と酪農を組み合わせた混合農業もさかんである。

[石狩平野 十勝平野 3 5 8 主業 副業的 二期作 輪作]

[解答欄]

①主業	②8	③十勝平野	④輪作
-----	----	-------	-----

[解説]



北海道では、広大な土地をいかした大規模農業が主業農家によって行われている。

耕地の 8 割近くは畑である。

日本最大の畑作地域である十勝平野は、火山からの噴出物でおおわれたローム層と、十勝川から運ばれた土からなっている。

多くの畑では、土地の栄養を落とさないようにするために異なる作物を順番につくる輪作が取り入れられている。

また、畑作と酪農を組み合わせた混合農業もさかんである。

たくさんの農産物が生産される北海道は、日本の食糧基地とよばれることがある。

[問題 5]

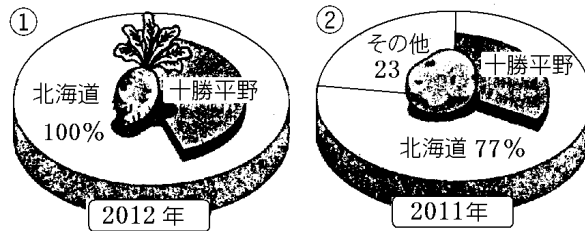
たくさんの農産物が生産される北海道は、日本の何基地といわれることがあるか。漢字 4 字で答えよ。

[解答欄]

食糧基地

【問題 6】

次のグラフは、北海道の十勝平野で栽培されている作物である。①、②の農作物名を書け。



【解答欄】

① てんさい

② ジャガイモ(ばれいしょ)

【解説】

てんさい(甜菜)は さとうだいこん ともよばれ、砂糖の原料となる。寒冷な気候が適しており、**北海道で 100%生産**されている。帯広の製糖工場で白砂糖に加工され、しぼりかすは家畜の飼料となる。(てんさいが白砂糖の原料であるのに対し、沖縄などでとれる さとうきびは黒砂糖の原料になる。)

[北海道が全国1位の農作物]

100%:**てんさい**70%以上:あずき, **ジャガイモ**

ジャガイモは、原産地は南米のアンデス山脈で、16 世紀後半に日本に伝わった。「ばれいしょ」ともよばれ、寒冷な気候でも育つため、明治時代以降、北海道で栽培がさかんになった。

北海道が全国 1 位である農作物としては、次のようなものがある。

てんさい(100% : 2012 年)、ジャガイモ(ばれいしょ)(77% : 2011 年)

あずき(92% : 2012 年)、小麦(58% : 2012 年)、たまねぎ(54% : 2011 年)、

かぼちゃ(48% : 2011 年)、生乳(50% : 2009 年)、スイートコーン(48% : 2011 年)

にんじん(28% : 2011 年)、大豆(29% : 2012 年)、大根(11% : 2011 年)

(統計出典)「日本国勢図会 2013/2014」P156・159・166・167・169

「データでみる県勢 2012」P23

【問題 7】

北海道が全国 1 位の生産量をほこる次の①、②の作物の名をそれぞれ答えよ。

① さとうきびとならぶ重要な砂糖の原料で、「さとうだいこん」「ビート」ともよばれている。北海道が全国生産のほぼ 100%を占めている。

② 原産地は南米のアンデス山脈で、16 世紀後半に日本に伝わってきた。「ばれいしょ」ともよばれ、寒冷な気候でも育つため、明治時代以降、北海道で栽培がさかんになった。

【解答欄】

① てんさい

② ジャガイモ

【問題 8】

北海道が生産量 1 位でないものを次から 1 つ選べ。

[ジャガイモ にんじん さとうきび 大根 たまねぎ]

【解答欄】

さとうきび